令和7年度

第1回

自己評価委員会報告書

於：令和7年7月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第1回自己評価委員会報告書

日 時：令和7年 7月14日（月） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 嶋村理事長・百瀬副理事長・桐山事務局長

(学校) 小原校長・小口教務主任

【審議検討事項】

1. 令和7年度自己点検・自己評価について

令和7年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の3項目・学修成果の4項目・学生支援7項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の順守の1項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

今後の課題

- ① 学校管理システムの構築→8月両校交流研修会にて提案し具体化していく
- ② 国家試験学科対策の強化→学生指導の難しさはあるが、対応方法を考察し学年ごとの情報共有を強化
- ③ 学生募集方法の検討→特待生の条件、内容についてと、AO入試導入に向けて、他県の情報収集を行いながら、検討していく。
- ④ 校内防犯カメラ設置→現状を踏まえながら、今後検討していく。

中項目の捉え方として、両校差があるが、各校の特色として自己評価へとつなげてほしい。

学校組織の在り方として、両校で意見を出し合い、箇条書きにして優先順位をつけて検討して欲しい。

今年度も引き続き、生徒募集に力を入れてほしい。

2. 令和7年度重点目標について、中間報告

中間報告として、現時点で令和7年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 授業計画に沿った準備・指導・振り返りの改善

○本時の授業に合わせた「授業準備」を意識して、振り返りからの課題を明確にした解りやすい授業展開を工夫する。

○「5分前行動」として、早めの取り組みを日常的に意識する。

- ・4月5月の習慣付けとして、時間厳守の指導を強化してきた。1年生の一部に学校生活に順応することが容易でない学生も目立つ。個人面談と共に保護者にも協力を促す。

重点目標② 教師・講師・学生会との連携強化

○嘱託講師との連携を強化して、低位生への手立てを工夫する。

○嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。

○学生会やルーム長を活用した、当事者意識を喚起する授業姿勢の改善

- ・座学の授業に対する興味関心が低く1学期期末試験の結果として2割前後が再試験対象者となっている。
- ・職業訓練の場としての美容学校という意識が高まることなく、依然として高校生の意識を変えられず問題行動に繋がっている。学校行事や実習授業において仲間と協力し合える習慣を定着させていく。

重点目標③ 教師と生徒との距離感を意識する

- 「名字」での呼名を職員間で統一する。馴れ合いにならない節度を意識した言動によって、整然としたクラス運営・生活習慣を整える。
- 学年主任を中心として、生徒の現状把握を共有したチームティーチングを意識すると共に、学生自身の当事者意識を促すコーチングを実践する。
 - ・学生と先生との「距離感」の把握には、依然として教師間での統一は難しい現状である。学年主任を中心として、クラスを超えた情報共有を意識していく。
 - ・教務会の充実を図る。

今後、令和8年2月までに重点目標並びに課題についても、結果を出していきたい。
引き続き継続できるよう向上していき、学校教育の質を上げていってほしい。

3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・令和6年度自己評価報告
- ・令和6年度重点目標の実施報告・課題の説明
 - ① 教職員の協力体制による指導力の向上
 - ② 教師と講師との連携強化
 - ③ 教師と生徒との距離感を意識する
- ・令和7年度実施目標
 - ① 授業計画の沿った準備・指導・振り返りの改善
 - ② 教師・講師・学生会との連携強化
 - ③ 教師と学生との距離感を意識する
- ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告
学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和6年度自己評価報告
- ・令和6年度重点目標の振り返り
- ・令和7年度実施目標
- ・委員からの提案

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

- 5. 次回 第2回自己評価委員会 令和8年2月17日（火）10：30～（松本校）
令和7年度自己評価まとめ